

生活支援訪問サービス事業所アンケート

1 調査目的

生活支援訪問サービスの現状の把握と今後の参考とするため

2 調査先

生活支援訪問サービス指定事業所(274事業所)

3 調査時期

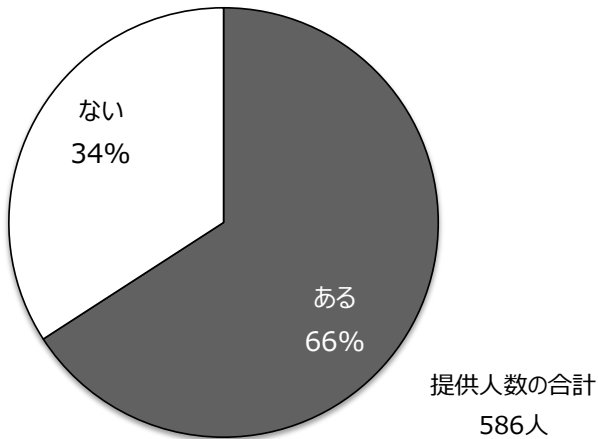
平成30年6月

4 回答数、回答率

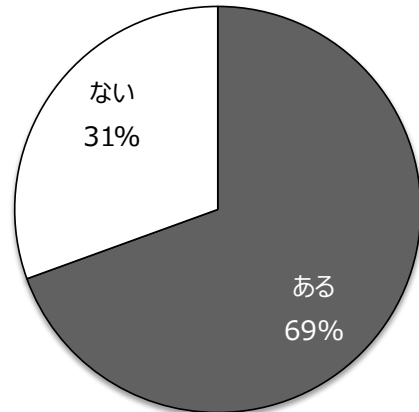
167事業所、60.9%

「生活支援訪問サービス事業所アンケート」結果

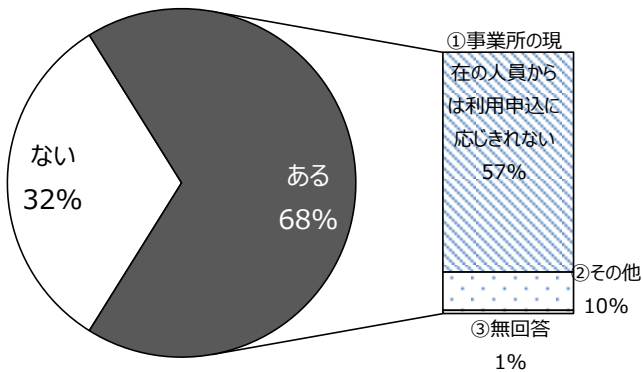
問1 これまでに生活支援訪問サービスを提供した実績はありますか。 N=167



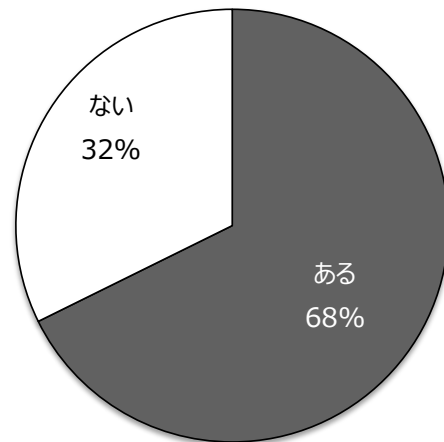
問2 これまでに、あんしんすこやかセンターから生活支援訪問サービスの提供依頼を受けたことはありますか。 N=167



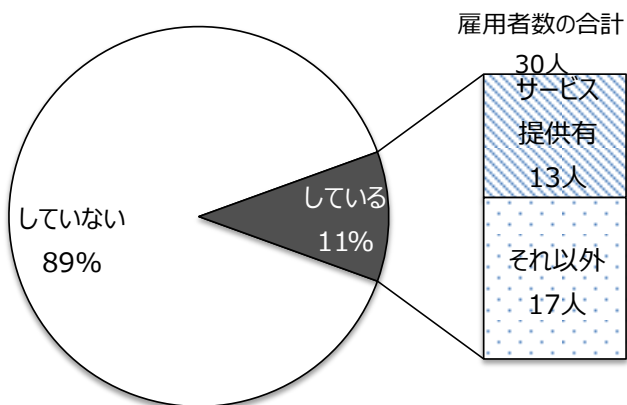
問3 ※問2で、提供依頼を受けたことがある場合
これまでに、あんしんすこやかセンターから依頼を受けたものの、サービス提供に至らなかったことはありますか。 N=121



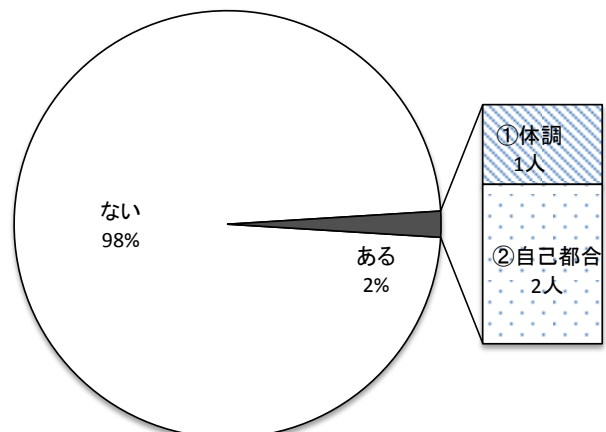
問4 貴事業所として、研修修了者を従事者として雇用する意向がありますか。 N=161



問5 貴事業所で研修の修了者を雇用していますか。 N=163



問6 貴事業所で研修の修了者を雇用した後、雇用を終了したことはありますか。 N=153



「生活支援訪問サービス事業所アンケート」結果

問7 事業所と研修の修了者のマッチングのために、どのようなことが効果的だと思いますか。ご自由にお書きください。（抜粋）

- 同意の上、事業所に生活支援訪問サービス研修受講者の情報を公開する、指定事業者が修了者を求人しているかどうかの情報を公開する。
- 研修の修了者は、必ずハローワークに登録する、必ずどこかの事業所へ登録してもらおう等、定める。
- 現場実習、先輩ヘルパーが同行して見本をみせるなどで働きやすくする。
- まず、研修を受ける方をもっと増やす為の対策が必要。PRすべき。
- 区単位での研修や、修了者と事業者が話し合う機会があればよい。
- 現在実施している、研修2日目終了後の事業者説明会の継続、生活支援訪問サービス指定事業者リストの修了者への配布。

問8 生活支援訪問サービスが定着する（利用が拡大する）ためには、どのようなことが効果的だと思いますか。その他ご自由にお書きください。（抜粋）

○周知が不十分なので、広く、この事業の説明を行い、各地区で、頻度を上げて研修をたくさん実施する等、もう少し研修を受けやすくしてほしい。

○研修チラシ、パンフレットはスーパー、ドラッグストアなど主婦層が来るところに置く。区単位で関係者集めての説明会を行う。

○元気な高齢者にやりがいのある仕事だという事をもっと広める。

○介護が身近な世代（40～50代）などへの働きかけ、育児世代への働きかけについて、例えばInstagramやT V C M、ネットなど世代によって伝わりやすい媒体を変える。

○支援者にも利用者にもわかりやすいサービスの仕分けの仕組みと、あんしんすこやかセンターのアセスメントによる、しっかりとした利用者の振り分けが必要。

○生活支援訪問サービスができる事業所を増加させる必要がある。N P Oなど新たな事業者が参入しやすいよう、説明会を開く、助成を出すなど支援が必要。

○ヘルパーやサービス提供責任者が従事したら単価を上げる。

○市が事業所へ助成をする、介護報酬の差を減らす、報酬を一律にする等。

○生活支援訪問サービスのみ実施する事業所の指定での、資格要件の緩和。

○事業所を探したが見つからない場合は、従来相当サービスで対応可能となっている限り拡大しない。

○各サービス事業所でも研修を実施できるようにするのはどうか。